



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年9月27日（金）No 22 発行
文責：松本 卓也

教えることで自分の勉強が足りていないことがわかりました ～小中合同寺子屋～

9日（月）、小中合同 toyo 寺子屋（全員学習会）を行いました。7月に続いて、今年度2回目の実施です。前回の反省を生かし、①一人学びの時間（約10分～15分）、②学び合いの時間（約25分～30分）、③振り返りの時間（約5分～10分）にわけ、中学生リーダーが中心となって進めてくれました。振り返りでの感想を、一部紹介します。



- 小学生に教えられた部分や教えてあげたこともあって、いい勉強会になったと思います。（1年Kさん）
- 小学生の問題がわからなかったなので、家でも復習して中1の問題につなげたい。（1年Nさん）
- 小学生に教えることが難しかったので、自分で理解するだけではなく、人に教えることができるようになりたい。（2年Iさん）
- 上手く教えたつもりでも、本人はわかっていないようだったので、少し苦戦しました。（2年Tさん）
- 小学1年生に教えるときは、指を使ってわかりやすく教えることを意識しました。先生たちの大変さがよくわかりました。（2年Uさん）
- 楽しく交流できてよかったです。（2年Mさん）
- 積極的に教えたりすることができました。小学生は問題を解くのが早くて、びっくりしました。（2年Iさん）
- 教えることで自分の勉強が足りていないことがわかりました。わかりやすく教えるのが難しかったです。（3年Yさん）



合同寺子屋の目的は、「①小学生への学習支援を行うことにより、小学校時に学習した内容の再理解が深まり、自分の学力向上につなげる、②自分の役割を果たし、充実感を味わうことで、今後の学習へのモチベーション向上につなげる」です。小学生との学び合いを通して、己の学習の定着度を知り、今後の自分の学びに生かしてほしいと思います。

「共感」「交流」「向上」

～大自然の中で多くのことを体験してきました～

19日（木）・20日（金）に1年生が集団宿泊教室を行いました。水俣病歴史考証館や百間排水溝、水俣慰霊碑を訪れ、半世紀ほど前、病に冒された人々が理不尽な差別を受けてきたことを実感しました。あしきた青少年の家では、館内ウォークラリーやマリン活動を通して、仲間と心を合わせることの大切さを学びました。「共感」「交流」「向上」、学んだことを日々の生活に生かしてください。



ご結婚、おめでとうございます

21日（土）、3年生担任のM先生が結婚式を挙げられました。出席させていただきましたが、新郎、新婦のお人柄が溢れる結婚式でした。本校からは、「トヨナンデス ご結婚おめでとう編」を制作し、子どもたちからのお祝いのメッセージを贈らせていただきました。結婚式のテーマを3K（感謝・感動・交流）と掲げ、感謝の想いが込められたとても感動的な式でした。M先生、ご結婚、おめでとうございます。末永くお幸せに！



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）